

## 参考 国の温室効果ガス排出量（平成20年度）

### 国の温室効果ガスの総排出量

- ・平成20年度（2008年度）の温室効果ガス排出量は、12億8,200万t（二酸化炭素換算）であり、京都議定書の規定による基準年（平成2年度（1990年度）ただし、代替フロン類については平成7年（1995年））から1.6%増加し、前年度（平成19年度）と比較して6.4%減少となっている。
- ・前年度と比較して排出量が減少した原因としては、金融危機の影響による年度後半の急激な景気後退に伴う、産業部門をはじめとする各部門のエネルギー需要の減少が挙げられる。
- ・また、温室効果ガス排出量の94.7%を占める二酸化炭素の平成20年度の排出量は、12億1,400万tであり、基準年度である平成2年度（1990年度）から6.1%増加し、前年度（平成19年度）と比較して6.6%減少となっている。

### 国の温室効果ガス排出量の推移

単位：百万t - CO<sub>2</sub>（カッコ内はH2年度比）

